

## まえがき

日本貿易振興機構アジア経済研究所では、2006年4月から5年間にわたり重点研究「中国総合展望研究」が実施された。その成果は、「現代中国分析シリーズ」として2010年3月までに4巻刊行された。本書は、展望研究の一部として組織された「転換期の中国—経済成長と政策決定のダイナミクス」研究会（2008年4月から2010年3月まで実施）の最終成果をまとめたもので、シリーズ第5巻にあたる。

本書は、現在の中国を読み解くために最新のイシューを分析対象とした点が特徴である。そのため、資料不足、事実の未確定などから最終成果をまとめることは大変難しかった。しかし、取り上げた研究対象領域に対し、これまで多くの研究実績を残してきた研究会委員が、最新のイシューの分析に2年間チャレンジに取り組んできた。その結果を世に問うことで、社会的なニーズに速やかに応え、中国の今後を展望するためのヒントを提供することができると考えている。各方面からのご意見、ご批判をいただければ幸いである。

本研究会が最終成果を刊行するまでには、多くの方々にご協力いただいた。研究会の初期の構想は、当研究所の前地域研究センター長であり、現在当機構上海センター所長の大西康雄氏によるものだった。そして研究会を発足させ、軌道に乗せたのは、2009年2月に急逝された当研究所地域研究センター東アジア研究グループ長の故今井健一氏だった。また袁鋼明氏（中国社会科学院）には、データ収集、現地調査などでお世話になり、ワークショップでも報告していただいた。同じくワークショップでは、岡崎久美子氏（日本銀行金融研究所）にも貴重なお話をしていただいた。さらに当研究所内部、そして外部の査読者の方々には、最終成果のすべての初稿に目を通していただき、貴重なコメントをいただいた。これらすべての方々にご心よりお礼申し上げます。

最後に、あらためて故今井氏のご冥福を心よりお祈りするとともに、本書刊行をご供養としたい。

2010年9月

編者